



うすい正一 千葉県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

千葉市美浜区特集 6月県議会一般質問



県議会本会議場で堂本知事に
県の方針をたずね、うすい正一県議

高齢者の生きがいがいかに配慮を

昨年四月の県議選で千葉市美浜区から立候補して再選を果たした県政界のホープ・臼井正一(うすい・しょういち)県議は、六月県議会一般質問に登壇し、高齢者の生きがいがいかに千葉市幕張に開設される計画の幕張インターナショナルスクールの設置をめぐる県の対応などで、県執行部の考えをたずねた。

この中で、臼井議員は、県企業庁がインターナショナルスクールへの土地貸付料の減免を行ったことは、既存の私学との間で不公平を生むのではないかと懸念を提起し、既存私学への助成の増額とあわせて行われるべきではなかったかと質問し、次期予算での私学助成への配慮を求めた。臼井議員の主な質疑を1、2面で特集します。

臼井議員 高齢者の生きがいづくりについて、いきいき大学専攻学部の活動内容を視察したときの感想はどうか。また、知事として、こうした団体の重要性をどう認識しているのか。

堂本知事 私が厚生年金休暇センターに伺ったのは、二年前の二月でした。体育館で高齢者の皆さんが、片方でダンス、片方で太極拳をやっている、その活動が自主運営と聞いて、大変頼もしいと思いました。

今後、急速に高齢化が進む本県で、高齢者の方が元気で人生を送っていただくには、健康づくりや生きがいづくりへの取り組みが、ますます重要になって

いきます。その場合、重要なことは、高齢者がどれだけ健康に、また、人間として深く生きるこゝとができるかということだと思えます。そういう生き方をすること自体を、一人ひとりが大事にしていく時代になったかと思えます。

臼井議員 年金・健康保険福祉施設整備機構に対し、千葉厚生年金休暇センターが譲渡された後も、今までの利用者が活動を継続できるように、県として働きかけることはできないか。

健康福祉部長 同センターは、高齢者が老後を楽しみ、健康で生きがいのあるものにする事を目的に設置された総合福祉施設

私学助成の不公平感指摘

総合企画部長 幕張インターナショナルスクールは、学校設置に必要な資金が確保され、本年一月十日に学校設置計画の承認を受け、財団法人・インターナショナルスクール設立準備財団が設立されたところですが、

ですが、今後、年金・健康保険福祉施設整備機構が売却していく方針と聞いています。

地元の千葉市議会では、その機能の存続を求める意見書を提出したと聞いており、県としても千葉市と相談しながら、機構に對し要望していきたいと思えます。

このように、学校の設置が事実になったことから、二月に企業庁から当財団に出損したものであり、適切な時期に行われたものと考えています。

臼井議員 INSへの企業庁の土地貸付料の減免は、一回限りの抛出ではなく、継続的支援に当るのではないかと。

総合企画部長 INSは本県の国際化を促進するとともに、千葉市や経済界、学校関係者が協力して設置するもので、非常に公共性の高い事業です。学校を設置するだけでなく、開校後も安定した学校運営を確保する必要があるため、当初の五年間に限って土地貸付料二分の一を減免するものであり、適切な支援であると考えています。

要旨 美浜区内にある私立の高校等は、公共性があるにもかかわらず、減免なしで学校をつくり、頑張っている。ついては、知事には次期予算において、私学助成にもしっかりと取り組んでいただきたい。

県政や千葉市美浜区のご相談、ご意見を聞かせてください

HPもご覧下さい。… 検索 ちば自民党 議員リスト 県議会議員 千葉市美浜区

新しい時代をつくるのは僕達の世代! 変えるのは皆様の声!

うすい正一 県議 PROFILE

経歴

- 昭和50年1月 千葉市検見川町生まれ
- 平成9年3月 日本大学文理学部卒業 米オックスフォードアカデミー修了
- 平成14年10月 衆議院議員秘書
- 平成15年4月 県議会議員初当選
- 平成19年4月 県議会議員再選

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員
- 千葉県 生活衛生適性化審議会委員
- 自民党県連 財務委員

〒261-0004 千葉市美浜区高洲1-9-7-2
TEL 043-244-0033 FAX 043-244-2200
E-mail usui@shoichi.info URL=http://www.shoichi.info

CO₂削減は喫緊の課題

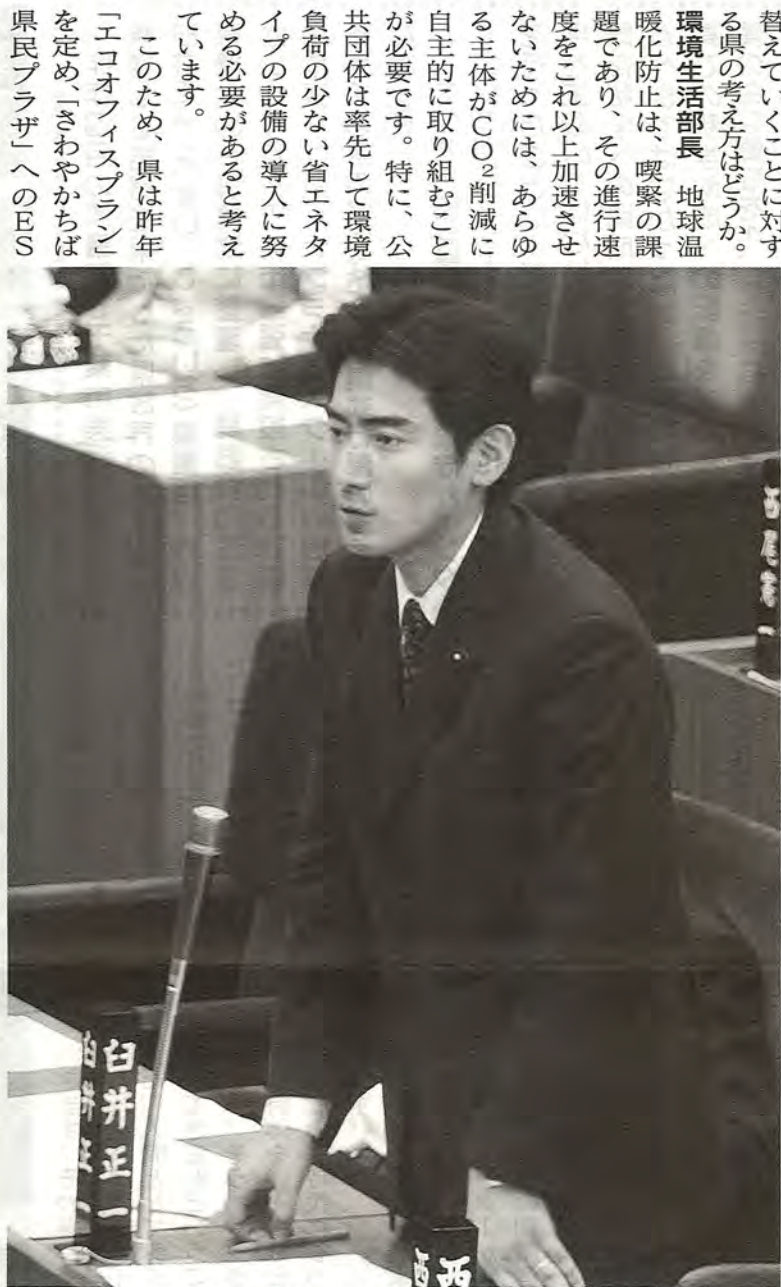
千葉市美浜区特集 / 6月県議会一般質問

白井議員 CO₂削減の取り組みですが、公共施設や民間事業所における設備を省エネルギータイプへ切り替えていくことに対する県の考え方はどうか。

環境生活部長 地球温暖化防止は、喫緊の課題であり、その進行速度をこれ以上加速させないためには、あらゆる主体がCO₂削減に自主的に取り組むことが必要です。特に、公共団体は率先して環境負荷の少ない省エネタイプの設備の導入に努める必要があると考えています。

白井議員 CO(エスコ)事業の導入、公用車の低燃費車への切り替え、照明器具の省エネタイプへの交換などを行って

きまりました。また、民間事業所に対しては、省エネ設備の一層の導入を働きかけるとともに、今後ともできることを一歩ずつ積み重ね、県を挙げてCO₂の削減に取り組んでまいります。



白井議員 異文化に対する

公用車は低公害車導入 屋上緑化推進策を検討

白井議員 低公害車、低燃費車の普及拡大を図っていく必要があるが、県の取り組みはどうか。また、県の公用車への導入状況はどうか。

生活環境部長 低公害車、低燃費車の普及拡大のため、①二百台以上保有の事業者に対する5%以上の導入の

義務付け②天然ガスとハイブリッドのバス・トラックの購入助成③自動車グリーン税制の紹介と購入・使用の推奨についての広報などに取り組んでいるところです。

また、「公用車の調達は、特殊用途のものを除き、すべて低公害車・低燃費車と

する」とこととしており、十八年度末現在、約35%に当る千三百九台が導入されています。今後とも、公用車への率先導入を進めるとともに、関係業界団体やモーターショーなどのイベントを通じて広く呼びかけてまいります。

白井議員 ヒートアイランド対策について、県内の屋上緑化への取り組みはどうなっているのか。

まちづくり担当部長 屋上

緑化は、都市の緑化ばかりでなく、ヒートアイランド現象の緩和のためにも有効な手段だと認識しています。しかし、一方で建築物への影響やコストの課題もあり、なかなか普及しないのが実情です。そこで、県は都市部の市との間で勉強会を開き、先進事例や緑化技術の情報提供を行うとともに、屋上緑化の推進について検討しているところです。

白井議員 県内公立小・中・高校に在籍する日本語指導を必要とする外国人児童生徒の状況はどうか。

外国人児童生徒数の状況

教育長 平成十九年度に県内の公立小・中・高校に在籍している外国人児童生徒は、三千八百八人です。そのうち、日本語指導を必要とする者は、小学校で六百七十一人、中学校で二百五十四人、高校で五十三人、合計九百七十八人で、その生活に使用する言語は、中国語、フィリピン語、スペイン語をはじめ二十五言語に及んでいます。そこで県教委では、日本語指導担当教員三十八名を外国人児童生徒の多い学校に配置しています。また、外国語に堪能な教育相談員二十三名を県立学校十八校に派遣し、教員と十分な連携を図りながら、外国人児童生徒の支援に努めています。

異文化への理解力が必要

外国人児童生徒数の状況

八人で、その生活に使用する言語は、中国語、フィリピン語、スペイン語をはじめ二十五言語に及んでいます。そこで県教委では、日本語指導担当教員三十八名を外国人児童生徒の多い学校に配置しています。また、外国語に堪能な教育相談員二十三名を県立学校十八校に派遣し、教員と十分な連携を図りながら、外国人児童生徒の支援に努めています。

白井議員 異文化に対する

理解力と対処能力の高い教員の育成について、見解はどうか。

教育長 グローバル化が進んだ現代社会では、教員の資質には、異文化に対する深い理解力と実践的な対処能力が極めて重要だと認識しています。特に、外国人児童生徒が在籍している学校では、円滑なコミュニケーションを

白井議員 全教員に対する研修を実施する必要があると思うが、どうか。

教育長 今後は、これまでの成果を踏まえ、新たに総合教育センターで異文化理解などに関する講座を開設するなどし、教員研修の充実に努めてまいります。

さらなるパワーアップ
若さと情熱で県政にチャレンジ

6月県議会自民党代表質問

財源不足への懸念を表明
6月定例会県議会最大会派の自民党からは皆川輝夫議員(鎌ヶ谷市選出、四期目)が代表質問に登壇しました。皆川議員は、財政問題を第一に取り上げ、本年度は当初予算段階でも百四十五億円もの財源不足のうえ、原油価格の高騰や幅広い物価の上昇が日本経済に暗い影を落としているなかで、今後予定した税収さえ確保できないのではないかと懸念から厳しい財政運営を質しました。また、羽田空港の国際化問題での知事の姿勢を厳しく質すとともに、成田新高速鉄道の開通に伴う北総鉄道との運賃格差問題や特急待ちによる利便性の低下などを指摘し、県当局の取り組みの是正を求めました。